

# 大分県立情報科学高等学校

～令和5年12月15日(金)訪問～ 【大分市】



大分県立情報科学高等学校は、変化の激しい世の中で活躍できる人材の育成等を目的として、令和5年に学科を再編し、将来ITを活用・推進できる人材を育成する「デジタル創造科」、AIに関する知識の習得などを通じて設計・開発に携わる人材を育成する「AIテクノロジー科」、ビジネスにITをプラスできる人材を育成する「ビジネスソリューション科」を設置しています。

はじめに、「一歩先行く情報科学高校」を目標に、先生と生徒が一体となって行っている学習活動について説明いただきました。情報科学高校では、先端技術関連企業と連携し、生徒自らが課題を発見・解決に向けた手法(デザインシンキング)に、AIなどの先端技術を積極的に取り入れているそうです。

また、実践力を養うため、実際に企業と商談を行うほか、小中学生向けイベントの開催や韓国ソウル市の学校と共同研究に取り組み、現地の教育関係者にプレゼンするなど様々な取組を実施しているとのことでした。

懇談後には、連携企業が学内に設置した研究室や中山間地域の高校への教育支援を目的としてプログラミング授業をオンライン配信する「COREO-Net.(コレオネット)」の実演、AIによるラジコン車の自動運転や、県政への提言をテーマとした総合的な探究の時間の授業を見学させていただきました。

## 対 話 風 景



## 関連する県の施策

### ☆事業名:【特】県立高校未来創生事業

事業概要:「AIテクノロジー科」(工業科)、「ビジネスソリューション科」(商業科)と令和5年に新設された「デジタル創造科」(情報科)を中心とした、企業や大学と連携した最先端技術を取り入れた授業展開の実施

予算額:7億473万円

### ☆事業名:【特】地域とつむぐ技術人材育成事業

事業概要:職業資格取得の推進、技術力や人間力の育成と工業の魅力伝える取組(体験講座、出前授業)の実施

予算額:3億2,093万円

### ☆事業名:【特】大分の未来を担うビジネスリーダー養成事業

事業概要:地域観光に貢献できるホスピタリティや地域活性化に挑む企業家精神の涵養を目的とした研修の実施、高校生によるECサイトの企画・制作・運営の実践及び学習成果の発表

予算額:2億6万円

※【特】は本県の課題を解決し、新しい大分県の創造に挑戦する「新おおいた創造挑戦枠事業」